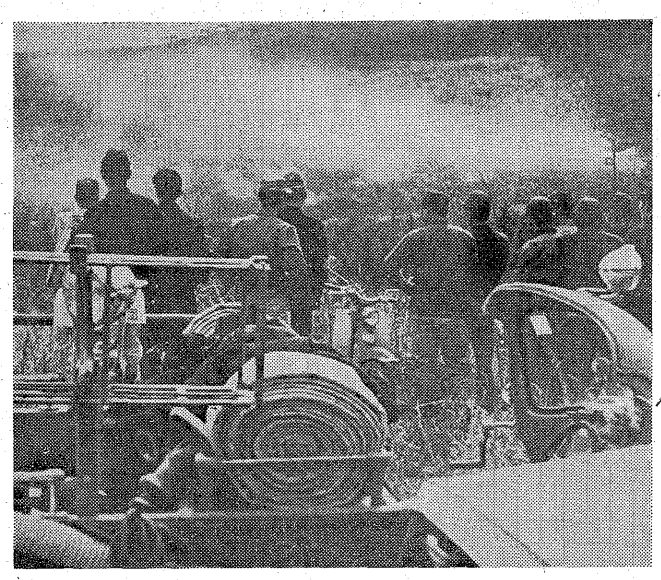
昭和40年4月28日（水曜日）

強風下に火事ひんぴん

赤城では山林30ヘクタール
十三むね全半焼

利根郡白沢村

きのう二十七日は未明から県下全域に強い風が吹きまくり、湿度も低下するという悪条件が重なって、赤城山では山火事、利根郡白沢村では十三むねを焼く大火が発生。また太田市では物置き、吾妻郡では彩林、桐生市では連続二件など、火事続発の一日だった。



前橋気象台の観測では、一日中十数メートルの風が吹き、湿度も二五％と低下。二十六日にパラついた雨で実効湿度は五〇％前後だったが、異常乾燥注意報発令の寸前という状態で、火災の発生しやすい条件が重なっていた。これは低気圧通過後の気圧の傾きがもたらした影響だが、自然のいたずらの被害は大きかった。

またたくまに焼失
二人がけ　千三百人が消火に

二十七日午前十一時ごろ勢多郡粕川村大猿の山林から出火した山火事は、約二ヘクタールの北西風におあられ、またたくまに付近の山林に燃えひろがった。消火にあたった粕川村、新里村、城南村、宮城村、大胡町、赤城村の消防車約三十台と消防手七百人、村民約五百人も加勢すべがなく、約六時間余り続けて、午後五時ごろ鎮火した。この火事で、消火にあたった粕川村女淵消防団副団長細井敏雄さん(三三)は消火中、切り株で左足に二週間のけが。同村新里消防団員藤崎さん(三〇)は小枝に左目を突きさし、一週間のけがを負った。

大胡署の調べでは、出火地点の所有者の勢多郡粕川村中、農長沢清満さん(六三)が前日、現場で約二十㌃の彩を伐採、この枝を整理の焼いたが、消すのが不完全だったため、損害額もかなりに達するものとみられている。

長沢さんは二十七日もむすこの隊の惇子さん(三七)と出火場所から約七十㍍ほどのところで、仕事をしていたが、午前十一時ごろ、前日仕事をした場所で灰が舞いあがるのでおかしいと思いながら「燃えきった灰だろう」と考え、そのまま仕事を続けたが、そのうちメラメラと燃え上がり、二人がけでは手がつけられなくなった。

逃げ遅れ大ヤケド
白沢　ふろ場の残り火か

二十七日午前二時ごろ、利根郡白沢村高平農業橋説一さん(七五)方ふろ場付近から出火、木造一部建て住宅一むね八十二・五平方㍍、同物置き一むね百九十八平方㍍、同平屋建て木造物置き一むね三十九・六平方㍍を全焼、おりからの強風で隣接の住宅や物置きに延焼、住宅二むね全焼、物置き、家畜舎など全部で十二むね九百六十八・五五平方㍍を全焼して同三時ごろ鎮火した。損害は約一千万円。

沼田署の調べによると、両橋さん方のふろ場の残火の不始末とみられている。

この火災で出火元の高橋さんの妻むつえさん(三七)は逃げ遅れ、両手に一カ月の火傷を負った。また二ワトリ二百羽、和牛二頭、ブタ五頭が焼け死んだ。

火災現場は同村の中心地で沼田一日光線二級国道沿いに家屋が密集しており、現場から五十㍍ほどの風下にはガソリン・スタンドがあり、さらに風速七㍍ぐらいの強風で、一時は心配されたが、幸い水利の便がよかったことと、前日雨で屋根がぬれていたことなどから、これだけで食い止めた。なおこの火災で地元目沢をはじめ隣接の沼田市、川場、利根村などからの消防車十五台がかけつけ消火にあたった。

被害は次のとおり。

【全焼】▽高橋説一＝住宅一、物置き二▽農　伊平亭一(三)＝住宅一、物置き一、畜舎一▽農　岸恩一(三七)＝物置き一▽農　百沢均(四五)＝物置き一、畜舎一▽大工

泉温旅館　石
前橋市町横町(電話)元天
全室客室　トイレ・テレビ　暖房完備

高崎線遅れる
深谷で衝突事故

二十七日午後七時二十分ごろ高崎線深谷―籠原間踏み切りで、長岡発上野行き上り普通列車と、深谷市の自動車学校普通乗用車が衝突、上下線とも不通になった。午後八時半に上り線だけ開通、単線運転しているが、この事故でレールが曲がり急行列車を含む列車の遅れが相当でるもよう。

小島雪吉さん(三)＝物置き一
【半焼】大工　小島雪吉さん(三)＝住宅一

見舞い金を贈る

自沢村では同日議会全員協議会を開いて協議した結果、住宅の全焼家庭に二万円、同半焼に五千円の見舞い金を贈ることを決めた。

太田では物置き

二十七日午前二時ごろ、太田市下田島、農島田光夫さん(三)方倉庫から出火、おも屋からひさしを焼き、約七十㍍ほどのところで、仕事をしていたが、午前十一時ごろ、前日仕事をした場所で灰が舞いあがるのでおかしいと思いながら「燃えきった灰だろう」と考え、そのまま仕事を続けたが、そのうちメラメラと燃え上がり、二人がけでは手がつけられなくなった。

ネクタイ　白樺
前橋オリオン通り

桐生で連続二件

二十七日昼ごろ、桐生市内で連続二件の火災が発生、民間人の早期発見と消火、迅速でボヤですんだ。

▽午後一時四十六分ごろ桐生市琴平町八四、製織業飯塚織維工業＝経営者飯島繁治さん(四)＝反毛工場から出火、反毛機四台のスタレとくず綿を少し焼いた。近所の高草木さんらが発見、バケツリレーで消し止めた。桐生署の調べでは、反毛機の火花が綿に燃え移ったもの。

▽同二時ごろ広沢町二丁目、店員周藤英二郎さん(三〇)方居宅から煙が出ているのを近くの主婦中村又子さん(三)が発見、近所の人十人と協力して消し止めた。周藤さん方は出火当時留守で、つげっぱなしの電気ゴタツが過熱したものらしい。ふとん、畳各一枚とヤグラなどを焼いたが損害は少ない。

桐生消防署では、近く発見者の中村さんを表彰する。

吾妻では杉林

二十七日正午ごろ、吾妻郡吾妻町松谷鈴沢の同所農茂本正四郎さん(三)所有の伐木した杉林から出火、同林六㌃(三年生カラ松百二十本、五千円相当)の計十㌃を焼いた。

吾妻署の調べでは、二十六日午後五時から七時ごろまでの間、茂木さんが伐木後ゴミを総した残り火が、二十七日正午ごろになって燃え上がったもの。

学校団体特に応相談
花器茶器　ナルサワ
前橋市大通り(電話)1585

谷川岳警備隊が開所
連休に備えパトロール

登山シーズンを迎えて谷川岳から遭難事故を防ごうと、県警谷川岳警備隊本部と同遭難対策班の開所式が二十七日午前十一時から土合登山口の土合山の家前広場で行なわれ、井桁県警備部長、塚越県観光課長、地元から土合沼田警長林本上町助役ら関係者が出席した。

井桁警備部長は塚越警備隊長ら隊員にピッケル、中島雪代志班長らに赤いザイルを手渡した。

準備を終わった隊員や班員はあすからはじまる連休に備えてつぎつぎとパトロールをはじめ、山の状況など偵察し事故防止に備えているが、ことしになって谷川岳はすでに死者三人、行くえ不明一人、重軽傷者六人、六件の遭難事故が発生しており、ブロックなされた危険にさらされているため、沢、岩のぼりは厳重な警戒するよう重ねて登山者に呼びかけている。

＝谷川岳警備隊と同対策班の出「所式＝

救助隊用のジープも
遭難者遺族の寄付金

谷川岳遭難者の救出や遺体収容作業にあたる有料の谷川岳遭難救助隊には二十七日から水上町土合山の家に本部を置いて店開きした。この救助作業をスムーズに行なうため、地元山岳会では遭難者遺族からの寄付金をもとに救助隊用のジープ一台を購入、同日から配置した。

ジープは遭難者の救出、収容などに使用されるが、購入のきっかけは、川崎市鷲田山王町、自動車修理業亀井芳雄さん(六三)が、さる三十六年十月十一日、一ノ倉沢で転落死した一男の孝幸君（当時十七歳）のめい福を祈り遭難者救出用のジープ購入を地元山岳会に申し入れ、二十五万円を寄付したことから地元山岳会では亀井さんの寄付に二十万円をたして購入した。

時の話題

▽小山藤岡警長は署長、管内にある心接室を「みんなの茶の間」として開放、このほど店開きした。

▽茶器ワンセットを買い込み、ポットには常にあついお湯がはいっており、テーブルの上にはタバコを切らす酒くという気のくばり方。

▽「この応接室は署長のものでなく、署員みんなのものであり、たずねてくる人全部のものでなくてはならないはず。大いに利用してほしいもの。ただし女の人たちにお茶くみなどさせませんから、セルフ・サービスでいきましょう」と若男人の小山署長らしいアイデアはなかなか好評。

＝「みんなの茶の間」の看板をあげた応接室入り口＝

パブリカ歌謡ショー!!
トヨタスポーツ800の発売を記念して
下記の通りパブリカ歌謡ショーを開催いたします
ゴールデンウィークの一日を楽しくおすごし下さいませ
日時　5月3日（午後1時より4時まで）
場所　群馬会館
出演者　コロムビア専属　ふじ山兄弟一行
楽団　ふじ山兄弟とフィッシャーマン
ブルースカイ、ジュニヤーオーケストラ
司会　内藤ロック
パブリカ群馬株式会社
本社　前橋市江田町305番地　TEL（前橋）②4411～5
桐生営業所　桐生市西堤町字天津沢2751番地　TEL（桐生）②8293
協力　ハンユーオート株式会社　太田市大字別所528　TEL（太田）3994～5
パブリカ群馬クラブ（事務局）　前橋市江田町305　TEL（前橋）②4411～5

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。